

Startup Weekend Okinawa Vol.7

開催レポート

2017-11-03 (金) 18:00 - 2017-11-05 (日) 21:00

A Z A N A



沖縄

startupweekendTM

Powered by Google for Entrepreneurs



会場：株式会社アザナ

那覇空港にほど近く、ビーチから徒歩20分という好立地に位置する、開放的かつクリエイティブなイベントスペース。



審査員／JUDGES

土屋 有

国立大学法人宮崎大学 地域資源創成学部 講師

宮崎スタートアップバレー 共同代表

大学進学で上京。26歳で上場企業取締役起業、面白法人カヤック事業部長。33歳で故郷宮崎へUターンし、地元IT企業に参画し取締役。新規事業（地域課題解決と収益性・成長性の両立モデル）立ち上げやM&Aなどを担当。2016年4月より現職。宮崎での創業支援や成長支援を目的とする“宮崎スタートアップバレー”を立ち上げ、共同代表。ベンチャー企業の顧問、地方自治体における産業政策関連の委員、日南市ローカルベンチャー事務局総合プロデューサー（2016-）などを兼務する。



戸田 達昭

シナプテック株式会社 代表取締役

1983年 静岡県藤枝市生まれ。

山梨大学大学院在学中に起業した山梨県初の学生起業家。卒業後にバイオベンチャー企業「シナプテック株式会社」を設立し、代表取締役に就任。一方で産学官民協働による地域づくりに取組み、第6期中央教育審議会生涯学習分科会委員をはじめ、教育関連機関や地域市民団体の代表や委員を務める。また起業・創業の分野に力を注いでおり、アクセラレーターとしても活動中

大西 克典

公益財団法人沖縄県産業振興公社ハンズオンマネージャー

1985年、日系証券会社に入社、米国留学を経てニューヨーク、台湾、中東、ロンドン、香港支店に勤務。企業調査、IPO、M&A、デリバティブ等に従事。2004年、米系投資銀行に入行、ヘッジファンドマネージャーとして、ロングショートファンドの運用。2011年より、公益財団法人滋賀県産業支援プラザのインキュベーションマネージャーとして起業家の支援を行う。2015年、公益財団法人沖縄県産業振興公社にて「ベンチャー企業スタートアップ支援事業」のハンズオンマネージャーとして、沖縄県のスタートアップ企業の支援を行う。



コーチ／COACHES



和波 俊久

Lean Startup Japan LLC 代表社員

琉球大学「ベンチャー起業講座」講師

自身2度の起業経験と、IT企業でのプロセスコンサルタントとしての活動を経て、2012年に"Lean Startup Japan LLC"を設立。日本の「トヨタ生産方式」を起源とするリーンスタートアップの考え方を利用した新規事業の立ち上げ支援を行っている。プロセスコンサルタントの視点を活かし、「どのような事業を始めるか」ではなく「どのように事業を始めるか」にフォーカスした独自のコンサルティングを提供する。クライアントはベンチャー企業や将来起業を目指すアントレプレナーのみならず、新規事業創出を手がける大企業や地方自治体にも及んでいる。"Lean Startup Machine"や"Startup Weekend"といった世界的な起業家向けイベントなどでメンター（アドバイザー）としても活動している。

寺地 峻

株式会社パラドックス Topothesia 事業責任者

1986年6月京都府長岡京市生まれ。高校卒業後琉球大学に進学。大学・大学院で化学を専攻していたが卒業後、東京は表参道に本社を構える株式会社パラドックスにて、広告制作のディレクター・コピーライターとして働いている。大学院卒業間際に、沖縄県内の大学生が集うコミュニティスペース《Topothesia》の立ち上げを行い、現在は事業責任者としてイベント設計や店舗経営も行っている。さらには広告制作の仕事の傍ら、Topothesiaを軸とした沖縄県内企業の採用活動における支援事業も行っている。



比嘉 良寛

株式会社Payke 取締役

縄県出身。株式会社沖縄銀行入行後、主に融資係を担当。退職後、琉球インタラクティブ株式会社にてWEBコンサルタントとして従事。同社にて、サイト製作、SNS運用、ECサイト運営など幅広い業務を行う。2014年11月よりPaykeを共同で創業。金融経験とIT業務の経験を活かし、CFOとして従事。



◆ スポンサー

プラチナスポンサー



株式会社 NTTドコモ 様

ゴールドスポンサー



株式会社 琉球銀行 様

PEOPLE'S BANK



株式会社 沖繩銀行 様



TIS株式会社 様



沖電グローバルシステムズ株式会社

沖電グローバルシステムズ株式会社 様

シルバースポンサー



株式会社 沖縄タイムス 様



税理士法人TAパートナーズ 様

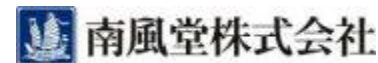


デジタルハリウッド大学大学院 様
リソーススポンサー



上間弁当天ぶら店

株式会社上間フードアンドライフ 様



南風堂株式会社 様
全国スポンサー



弥生株式会社 様

SCHEDULE

11月03日(金)	11月04日(土)	11月05日(日)
06:00pm 受付開始	10:00am 2日目開始	10:00am 3日目開始
06:30pm 懇親会	10:30am ファシリテーション	12:00pm 昼食
07:00pm ファシリテーター挨拶	12:00pm 昼食	03:00pm プレゼン前のテックチェック
08:00pm 1分ピッチ	02:00pm コーティング開始	05:00pm 最終プレゼン
08:30pm 話し合いと投票	04:30pm コーティング終了	06:30pm 審査発表
09:00pm チーム作り	06:30pm 夕食	07:00pm パーティー
09:30pm 1日目終了&帰宅	09:00pm 2日目終了&帰宅	09:00pm 3日目終了&帰宅!

参加者内訳

属性・所属	人数
中・高校生	4名
大学生	10名
社会人	28名
合計	42名

○見学者：6名

DAY 1



会場となったAZANAは、ビーチに近くクリエイティブな空間。非常に良い雰囲気の中、参加者同士の懇親パーティーからイベントが始まりました。

参加者は中学生から中年(!)まで、また外国の方も参戦するなど、42名の多様な勇者が集い、30名以上が白熱したピッチを行いました。投票の結果残ったのは8チーム。

高齢化などの社会課題解決に取り組む、またはアニメで町おこしやヒッチハイクなど、様々なプロジェクト案が生まれました。とにかく、テンションの高さとアツさが際立つ一夜となりました。

DAY 2



DAY 3



チーム紹介①（プレゼン順）

PARK & MONORIDE

「ONE TAP グルメリスト」

○今いる場所の近くにある、地元の人がおススメする店・料理を紹介してくれるサービス



チーム紹介②

POCKET STYLIST

○ユーザー同士でコーディネート提案し合えるSNSアプリ



チーム紹介③

ゆいの～る

○保護者間で児童の通学送迎を共有するサービス



チーム紹介④

チームMGN

○クリエイターや地元企業と一緒にアニメの聖地化を目指すプロジェクト



チーム紹介⑤

M o a i

○古くから伝わり、現在も多くの沖縄県民が利用している相互金融扶助システム模合（モアイ）をアップデート。仲間同士で楽しく便利に会を運営し、貯まったお金を有効活用するアプリ。



チーム紹介⑥

SWHITCH

○誰もが簡単に楽しく安全にヒッチハイクを楽しめるサービス



チーム紹介⑦

熱い政治家チーム「老つべ」

○Youtubeの高齢者版。高齢者が自分の人生経験をネタに楽しく社会に貢献できるサービス。気に入った老チューバーに対して投げ銭で寄付。



チーム紹介⑧

Viennent les Martians

○忘れ物をしないよう、大切な持ち物にセンサーをつけ、腕時計型デバイスにより管理。自分から一定の距離を超えるとアラームにより通知



結果発表



3位「SWHITCH」

審査員コメント

本来、審査基準は多岐にわたるが、今回最も重要視したのはマネタイズではなく、**startup weekend**においてキモとなる問題設定と検証。SWHITCHの受賞理由は、自分たちが好きな世界観が明確であり、新たな市場を創造しようとしている点。



2位「ゆいの〜る」

審査員コメント

全体的にひっ迫した課題が見出せていないチームが多い中、子を持つ親の切実な悩みの解決に向け取り組んでいる点において評価が高かった。

そして一位は . . .



審査員コメント

審査員全員の意見が一致し選出。市場規模、また模合のアップデートをしたいのかフィンテックをしたいのか明確化されていないなどの検討の余地はあるが、課題に対して解決策をきちんと提示できている点において最も高く評価された。

審査委員長コメント



今回受賞しなかったチームにも光るものが多く、POCKET STYLE LIST およびチームMGN、Viennent les Martiansなどは、起業家としての資質を備えていると思われ、有望性がある。またPark & Monoride と熱い政治家チームは、ビジネスモデルとしてきれいにまとまっており、これにとんがった要素を加えるとなお磨き上げられると思われる。

沖縄県産業振興公社では、皆さんのような起業家を目指す人をサポートする施策を行っており、今後気軽に活用していただきたい。

懇親会



まとめ



今回は沖縄で7回目の開催となりましたが、Startup weekendというイベントに対する知名度や期待の高まりが感じられ、また参加者の熱量自体も過去最高ではないかとの声も寄せられるなど、アツい3日間となりました。中高生や外国人が果敢に参戦し、またこの分野に縁遠かった旅行業界から関心が寄せられるなど、今後さらなる裾野の広がりが期待できます。沖縄にはこのイベントを運営するためのノウハウやチームの役割分担と連携体制が確立されつつあることから、今後も継続的な開催が見込めます。単なるイベントからコミュニティへ。李さんの求める世界の実現に向け、沖縄が一步前進しました。ご協力いただいたすべての方々に感謝申し上げます。